— 観 察 記 録 —

三重県津市町屋浜海岸で得られたマダラシロハラミズナギドリ *Pterodroma inexpectata*

宮越和美¹・箕輪義隆²・和田 岳^{3,*}

¹ 〒 514-0817 三重県津市高茶屋小森町 2049-9

² 千葉市野鳥の会 〒 262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷 1-5-25-102

³ 大阪市立自然史博物館 〒 546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-23

(2012 年 12 月 19 日受付；2013 年 8 月 1 日受理)

キーワード：*Pterodroma inexpectata*, マダラシロハラミズナギドリ, 国内 2 例目, 三重県.

日本鳥学会誌

Japanese Journal of
Ornithology

© The Ornithological Society
of Japan 2014

Kazumi MIYAGOE¹, Yoshitaka MINOWA², Takeshi WADA^{3,*}. 2014. A record of Mottled Petrel *Pterodroma inexpectata* collected on Machiya Beach, Tsu City, Mie Prefecture. Jpn J Ornithol 63: 59–62.

Key words: *Pterodroma inexpectata*, Mottled Petrel, Second record, Mie Prefecture.

¹ Takachaya-komoricho 2049-9, Tsu City, Mie 514-0817, Japan.

² Wild Bird Society of Chiba City, Maku-hari-hongo 1-5-25-102, Chiba 262-0033, Japan.

³ Osaka Museum of Natural History, Nagai Park 1-23, Osaka City, Osaka 546-0034, Japan.

1. 種名・観察個体数：マダラシロハラミズナギドリ *Pterodroma inexpectata* 1 個体.

2. 観察者名：宮越和美（死体発見），箕輪義隆（種同定），和田 岳（測定）.

3. 観察日時・場所：2011 年 6 月 8 日 14:50 頃，三重県津市白塚町町屋浜海岸（34°45'46"N, 136°32'18"E）で死後数日経過したと思われる乾燥が進んだ死体を拾得した（図 1）.

4. 観察距離：—

5. 観察した環境：死体を拾得した町屋浜海岸は三重県の中中部，伊勢湾内にある．伊勢湾の湾口部を鳥羽市とすると，町屋浜海岸は湾口部から直線で約 42 km 湾内に入った場所に位置する．町屋浜海岸は志登茂川河口から白塚漁港までの南北に約 2.7 km の砂浜海岸であり，砂浜の幅は満潮時約 20 m，干潮時約 60 m である．2009 年からの観察ではこの浜で 5 月から 6 月にかけて，低気圧通過後に多数のハシボソミズナギドリ *Puffinus tenuirostris*，オオミズナギドリ *Calonectris lrucomelas*，少数の

ハイロミズナギドリ *P. griseus* の漂着死体を確認している．本個体は漂着個体の調査の際に発見したものである．

6. 形態に関する記述：本個体は同じ時期に多数死亡したハシボソミズナギドリと目測では体型や体サイズは似ていたが，翼下面はハシボソミズナギドリより明らかに白色であった．本個体の腹部は損傷が激しかったが（図 1），他の部位は羽毛が残され，羽色を判断することが可能な状態であった．本個体の羽衣は，頭部が暗灰色，上面は灰色で初列風切から大雨覆，中雨覆，腰にかけて黒色味が強く M 字型の帯を形成していた（図 2）．翼下面は白色で，翼角から脇にかけて明瞭な太い黒色帯が特徴的であった（図 4）．腹部の羽毛は欠損し，脇と思われる部分には先端が灰色の羽毛があった．尾羽は一律に灰色で濃淡差はほとんど見られず（図 2），下尾筒は白色であった．嘴は黒色で管状の鼻孔が認められ，上嘴先端は大きく下にカーブしていた．脚は淡紅色で，趾の先端部は黒色味が強く，先端にかけて黒色が濃くなっていた．

7. 計測値：本個体の死体を測定し，表 1 に示した．最大翼長は定規を用い 1 mm 単位，尾長は

* E-mail: wadat@mus-nh.city.osaka.jp

doi:10.3838/jjo.63.59

JOI:JST.JSTAGE/jjo/63.59

図1. 三重県の海岸での発見時のマダラシロハラミズナギドリの死体.
Fig. 1. The Mottled Petrel on Machiya-hama, Mie Prefecture.

図2. 三重県で回収されたマダラシロハラミズナギドリの標本（上面）.
Fig. 2. The Mottled Petrel specimen collected in Mie Prefecture (upperparts).

図3. 三重県で回収されたマダラシロハラミズナギドリの標本（下面）.
Fig. 3. The Mottled Petrel specimen collected in Mie Prefecture (underparts).

図4. マダラシロハラミズナギドリの翼下面. 黒色帯を示す.
Fig. 4. Underwing of the Mottled Petrel showing the broad black bar.

表1. 死体回収されたマダラシロハラミズナギドリとシロハラミズナギドリ属4種との計測値の比較.
Table 1. Comparison of measurements of the Mottled Petrel collected in Mie Prefecture with four other species of *Pterodroma*.

種 名 Species	最大翼長 Max wing (mm)	尾長 Tail (mm)	露出嘴峰長 Exposed culmen (mm)	跗蹠長 Tarsus (mm)	出 典 Source
本個体 this study	249	107	26.2	33.3	標本番号 OMNH A6615
マダラシロハラミズナギドリ <i>Pterodroma inexpectata</i>	251–273 (n = 15)	101–112 (n = 15)	25–29.8 (n = 15)	33.4–37.6 (n = 15)	Marchant & Higgins (1990)
シロハラミズナギドリ <i>P. hypoleuca</i>	211–246.5 (n = 65)	98–121.5 (n = 67)	23.4–27.7 (n = 68)	27.4–34.0 (n = 69)	*1
ハグロシロハラミズナギドリ <i>P. nigripennis</i>	215–230 (n = 10)	99–107 (n = 9)	22.9–25.3 (n = 9)	29.5–31.9 (n = 9)	Marchant & Higgins (1990)
チャタムミズナギドリ <i>P. axillaris</i>	200–222 (n = 7)	91–98 (n = 7)	23.2–26.0 (n = 7)	27.3–32.1 (n = 7)	Marchant & Higgins (1990)

測定対象は剥製標本とした. 数値は最小値と最大値を示す.

*1 我孫子市鳥の博物館, 千葉県立中央博物館, 大阪市立自然史博物館, 山階鳥類研究所の収蔵標本を測定した.

ノギスを用い 1 mm 単位、露出嘴峰長と跗蹠長はノギスを用い 0.1 mm 単位で記録した。最大翼長は、図 2 の状態で右翼を測定した。尾長は中央尾羽の下に水平にノギスを差し込んで測定した。跗蹠長は右脚を測定した。

8. 種を同定した規準：本個体の嘴には管状の鼻孔が認められることからミズナギドリ目である (Harrison 1985)。翼上面にみられる M 字形の暗色帯と白色部が多い翼下面からシロハラミズナギドリ属 *Pterodroma*、アオミズナギドリ属 *Halobaena*、クジラドリ属 *Pachyptila* の可能性が考えられるが、アオミズナギドリ属とクジラドリ属の種は翼下面が一樣な白色であるため (Onley & Scofield 2007)、シロハラミズナギドリ属と判断された。本個体の翼下面には太い黒色帯が見られ、脇に灰色の羽毛が残されていたことから、マダラシロハラミズナギドリ *Pterodroma inexpectata* の可能性が高いと考えられた (Onley & Scofield 2007)。マダラシロハラミズナギドリの腹部は特徴的な灰色で、頭部は暗灰色、翼上面は灰色に M 字形の暗色帯、翼下面は白地に太い黒色帯が入り、尾は灰色である (Onley & Scofield 2007; Howell 2012)。これらの特徴は本個体に一致するが、腹部の羽色は損傷により確認できなかった。そこで、翼下面に太い黒色帯を持つシロハラミズナギドリ *P. hypoleuca*、ハグロシロハラミズナギドリ *P. nigripennis*、チャタムミズナギドリ *P. axillaris* の羽色を検討した (Onley & Scofield 2007)。日本鳥学会 (2012) に記載されていないチャタムミズナギドリの和名は山階 (1986) に従った。4 種のうちシロハラミズナギドリは翼下面の翼角付近に三角形の暗色斑があり、チャタムミズナギドリは脇羽が黒色である点で、本個体の羽色と異なる (Onley & Scofield 2007)。ハグロシロハラミズナギドリは翼下面の黒色帯が類似するが、尾羽の先端が暗色である点が異なる (Onley & Scofield 2007)。加えて、最大翼長、尾長、露出嘴峰長、跗蹠長の測定値について比較した結果 (表 1)、ハグロシロハラミズナギドリ、チャタムミズナギドリは最大翼長、跗蹠長が本個体より短く、特に最大翼長は最大値でそれぞれの種で 19 mm と 27 mm 短かった。シロハラミズナギドリは最大翼長が本個体よりも最大値で 2.5 mm 短かった。マダラシロハラミズナギドリは最大翼長、跗蹠長が本個体よりも最小値でそれぞれ 2 mm と 0.1 mm 長かった。羽色の特徴が一致し、測定値が近似している点から、本個体はマダラシロハラミズナギドリと判断された。

9. 観察した行動：—

10. 写真の有無：有り (図 1-4)

11. 死体・標本保管場所：大阪市立自然史博物館で仮剥製標本を保管している。標本番号；OMNH A6615。

12. 過去の記録とその文献：国内では広島県広島市において 1986 年 6 月 17 日に衰弱した状態で保護され、翌 18 日に死亡した個体の記録のみが報告されている (福本 1989；日本鳥学会 2012)。

13. その他：内臓は腐敗しており、生殖巣は確認できなかった。ゆえに性別は不明である。

14. 考察：マダラシロハラミズナギドリは 12-5 月にニュージーランド南部のシュアート島、スネアーズ諸島で繁殖し、5-10 月にかけて北太平洋に渡る (del Hoyo et al. 1992; Howell 2012)。本個体が拾得された 6 月はベーリング海からアラスカ湾が主な分布域である (Bartle et al. 1993)、日本近海では 6-7 月にカムチャツカ半島東方からアリューシャン列島にかけての海域で記録されているが (Kuroda 1955; Nakamura & Tanaka 1977)、本州近くの海上には飛来しない。本個体を拾得した 2011 年 5 月下旬から 6 月初旬の気候は、台風 2 号の北上に伴って日本の南に停滞する梅雨前線が刺激され全国各地で大雨となり、東海地方は 5 月 27 日に梅雨入りしていた (気象庁 2011a, b)。5 月 28 日には津市町屋浜海岸でその年初めて数羽のハシボソミズナギドリの死体を確認した。6 月 1 日夕刻、同地において強い風雨の中での観察では多くのハシボソミズナギドリと 1 羽のハイロミズナギドリの死体が海岸に打ち寄せられていた。本個体は 6 月 1 日から翌 2 日未明に気圧の谷間がもたらした荒天での高潮満潮ラインから約 3 m 海寄りで見つけたもので、6 月 2 日風雨が治まった以降の漂着であると推測される。ただし、本個体は 6 月 8 日の発見時には死後数日経過していたことから、自力で伊勢湾内へ飛来して死亡したのか、外洋で死亡して漂着したのかは不明である。

本報告作成にあたり、2011 年 12 月に開催された第 4 回鳥の学校「論文を書こう！」での講義や参加者との議論が大変参考になった。講師を務められた濱尾章二氏、植田睦之氏に深く感謝したい。公益財団法人山階鳥類研究所、我孫子市鳥の博物館、千葉県立中央博物館には標本の閲覧、測定の便宜を図って頂いた。また、貴重な助言を頂いた和文誌編集委員と匿名のレフェリーにも感謝申し上げる。

引用文献

- Bartle JA, Hu D, Stahl JC, Pyle P, Simons TR & Woodby D (1993) Status and ecology of gadfly petrels in the temperate North Pacific. Vermeer K, Briggs KT, Morgan KH & Siegel-Causey D(eds) *The Status, Ecology, and Conservation of Marine Birds of the North Pacific*: 101–111. Canadian Wildlife Service Special Publication, Ottawa.
- del Hoyo J, Elliott A & Sargatal J (eds)(1992) *Handbook of the Birds of the World. Vol 1. Ostrich to Ducks*. Lynx Edicions, Barcelona.
- 福本幸夫 (1989) 日本におけるマダラシロハラミズナギドリ *Pterodroma inexpectata* の新記録. 日鳥学誌 38: 101–102.
- Harrison P (1985) *Seabirds. An Identification Guide. Revised Edition*. Christopher Helm, London.
- Howell SNG (2012) *Albatrosses and Storm-petrels of North America: A Photographic Guide*. Princeton University Press, Princeton.
- 気象庁 (2011a) 日々の天気図 No. 112 2011 年 5 月. (オンライン) <http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/hibiten/2011/1105.pdf>, 参照 2013-7-22.
- 気象庁 (2011b) 日々の天気図 No. 113 2011 年 6 月. (オンライン) <http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/hibiten/2011/1106.pdf>, 参照 2013-7-22.
- Kuroda N (1955) Observations on pelagic birds of the north-west pacific. *Condor* 57: 290–300.
- Marchant S & Higgins PJ (eds) (1990) *Handbook of Australian, New Zealand and Antarctic Birds. Vol 1. Ratites to Ducks*. Oxford University Press, Oxford.
- Nakamura K & Tanaka Y (1977) Distribution and migration of two species of the genus *Pterodroma* in the North Pacific. *Misc Rep Yamashina Inst Ornith* 9: 112–120.
- 日本鳥学会 (2012) 日本鳥類目録改訂第 7 版. 日本鳥学会, 三田.
- Onley D & Scofield P (2007) *Albatrosses, Petrels and Shearwaters of the World*. Christopher Helm, London.
- 山階芳麿 (1986) 世界鳥類和名辞典. 大学書林, 東京.